

第二十四回 帝國議會 公證人法案委員會議錄(速記)第三回

會議

明治四十一年二月二十日午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

磯部

四郎君

立川

雲平君

向坂

弘君

矢島

浦太郎君

小川

平吉君

河村讓三郎君

河原

望月

長夫君

大戸

復三郎君

花井

卓藏君

森

肇君

古賀

逸馬君

牧野

神崎

東藏君

谷澤

龍藏君

庸藏君

逸馬君

東藏君

龍藏君

庸藏君

肇君

逸馬君

東藏君

龍藏君

レデ今ノ或人カラノ請求ヲハナシニ、議事整理ノ上カラサウ云フコトニ願ヒタイ

○花井卓藏君 森君ノ御論モアッタデセウケレドモ、一体何デセウカ、森君ガ是ハ今日質問終了決議ニ至ルト云フ御考デアリマセウカ、私ダケ質問致シマシテモヤハリ數日ヲ拜借シタイヤウニ思フテ居リマス

○森肇君 一議員デ今日出テ意見ヲ述ベルコトが出来來ナイカラ、其要求ヲ容レテ質問ハニ止メテ置クト云フコトデ、此審査ノ方針ヲ定メルト云フ意味デナクシテ、此委員會ハ委員會ノ獨立ノ意見ト獨立ノ意志ノ下ニ於テヤルト云フノニアリマス

○委員長(磯部四郎君) 一議員デ今日出テ意見ヲ述ベルコトが出来來ナイカラ、其要求ヲ容レテ質問ハ終リマシタ、今日ハ逐條ニ付テノ質問ガアリマス

○神崎東藏君 大體逐條ヲ兼ねタヤウナ質問デアリマスガ、今迄公證人トナツテ居人ノ履歴トカ資格トカ、舊ノ公證人ノ規則ニ依リマスト、試験ニ及第シテ者ガ公證人ニナルコトガ出來ル、判檢事がナルコトガ出來ルノデ、ドウ云フ種類ノ人が公證人ニナツテ居ルカト云フコトヲ聽キタイ、是迄ノ公證人ハ人格ノ上カラ言ダテモ此法律思想ト云フヤウナ點カラ見テモ、殆ド裁判所ノ書記以下ノ人々ガヤツテ居ルヤウナ風デ、而モ老朽ノ人ナドガ多イデアルカラシテ、サウ云フ人ニ此立派ナ公證人法案ト云フヤウナモノヲ當籍メララ、ドウモ子供ニ刀ヲ持タセルヤウナモノデ、或ハ非常ナ危険ヲ生ズルヤウナ處ガアリハシナカト思ヒマスカラ、念ノタメニ聽イテ置キタイ、モウ一つ附加ヘテ申上げテ置キタイノハ、今迄司法省ノ方針が判檢事ニ古者ヲ公證人ニスルト云フコトヲ專フ圖シ居ラレタヤウデ、其他ノ人々ガ公證人ニナリタイト云シテモ、ナカバ御許シガナカツタ云フコトヲ耳ニシテ居リマス、是ハ許サレナカツタ人ノ怨ノ言葉カ知リマセヌガ、統計ヲ見タラ其様ナコトが分ラウト思ヒマスカラ、念ノタメニ御調カ出來テ居レバ伺ヒタイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ハ公證人ノ出身別ノ御尋ト心得マスガ、

本月ノ十五日ノ現在デゴザイマスガ、公證人試験ニ及第シテ公證人ニ任ゼラレマシ

タ者ガハ十五人、試験及第ノ上ニ、判事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ十三人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ十二人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ十一人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ十人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ九人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ八人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ七人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ六人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ五人、法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ一人、試験及第ノ上ニ、檢事ニアリマシタ者ア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガハ四人、ソレカラ代言人ノ試験ニ及第シテ辯護士法實施ノ際ニ辯護士トナツタ者ア、公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ七人ゴザイマス、此試験ヲ受ケテ判檢事辯護士トナツタリ、又ハ法學士ニア公證人ニ任ゼラレマシタ者ガ合計シマスト三十五人トナリマス、此中ニ裁判所構成法ノ際ニ引續イテ居タツ者舊ノ代言人ア、斯ウ云フ者ヲ含ムノアリマス、ソレデ唯今ノ御尋ノ立派ナ資格ヲ持テ居ル者ニ該當シマス數ハ二十五人、ソレカラ其次ハ公證人試験ニ及第シタ者ガ六十五人、其他ノ者ガ二百五人、斯ウ云フ比例ニナツテ居リマス

○望月長夫君 今ノ森君ノ御論モアリマスガ、成程其一人ノ議員ノ差支ノタメニ議事進行ヲ爲サヌト云フコトハ宜シクナイアリマス、併シナガラ斯様ナ澤山ナ法條ヲ含シテ法律案ニ付テハ、ヤハリ各條ニ付テハ、質問ヲ致シテ置ケバ、第一條ニ修正ガアツテモ第3條ヲ先づ聽カナケレバ分ラヌコトが屢々アル、ソレデヤハリ質問ヲ各條ニ付テ致シテ、ソレカラ後ニ又各條ニ付テ修正說ヲ出シテ往ク、此方ガ却テ進行ガ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ後ニ又各條ニ付テ行

○望月長夫君 最モ總体カ或ハ各條カ、チヨット分リ兼ネルヤウナ質問デアリマスガ、全体今日迄此公證人規則ニ依テ公證人制度ヲ實施サレタ結果ハ、餘リニ好キ發展ヲ致シ居ラヌト思フ、事實ニ於テハ殆ド公正證書ト云ヘバ、其多クガ或場合ニ於テ虛偽ヲ裝飾スルノニ用ヒラレテ居ルコトガ多イヤウニ思ハレル、吾々が辯護士ヲ致シテ居テモ、公正證書ノ訴訟ダト云フト、普通ノ私製證書ノ訴訟ヨリモ一層注意シナケレバ、ナラヌヤウナ今日迄傾キガアツタ、隨ツテ裁判所ニ於テモ、公正證書ト云フモノガソレ程ドウモ事實ノ上ニ是ガ事實ニ適合スルモノトシテノ信用ガ甚ダ乏シカツタ、殊ニ高利貸ガ利用スル所謂追認證書ナドト云フモノニナルト、其弊害殆ド測リ知ルベカラザルモノガアツタ、所が今度ノ此公證人法ヲ制定セラル、ニ就テハ、此點ニ於テ餘程注意ヲサレタラウトハ思フノデスケレドモ、ズット一讀シタバカリデハ、僅ニ委任狀ニ戸籍役場ノ印鑑證明が要ルト云フ位ノコトデ、格別其方デ從來ノ弊ヲ除クニ足ルベキ規定ガアルヤウニ思ハレマセヌ、又其人ノ印鑑證明ヲ取シタトヨロガ、ドレ程確實ニナルカト云フコトモ疑問デアリマス、兎ニ角總体ニ於テ唯今申シタ如ク事實ト離レタコトガ多カツタノデス、ソレヲ矯正スルガタメニ、無論意ヲ用ヒラレタト思ヒマスルガ、左様ナ着意ヲ以テ舊法ヲ改正サレタ點ハドレ位アルノデゴザイマセウカ、其邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員(齊藤十一郎君) 今御尤モナル御尋デ、實ハ政府ニ於キマシテモ、從來公正證書ノ信用ニ關シテ憂フベキ點ノアリマスルコトハ、認メテ居ルノデゴザイマス、其最モ憂フベキ點ハ、囑託人ノ代理人テアリマス場合ニ、委任狀ヲ偽造スルコトガ最モ重モナルモノ、一デアシタノデス、其外ニ人達ヒト云フヤウナコトノ證明モ確ニ完全デ無カツタ認メテ居リマス、從ヒマシテ其二點ヲ最モ大ナルモノト認メマシテ、其缺點カラ生ジマスル弊害ハ出來ルダケノ方法デ救ヒタイト、斯ウ云フ考ヲ持チマシテ、イロイロナ考案モ迴ラシテ見タノデゴザイマスルガ、何分ニモ裁判所ト違ヒマシテ、證人ヲ許ストカ其他イロイロ證據等ヲ提出セシムルト云フコトモ、手續上出來兼ネルノデゴザイマスカラ、公證制度ノ上ニ於キマシテ許サルベキ證據物デ、成ルヘク事實ノ真ニ適フヤウニ致シタイト、斯ウ云フ主意デ調査ヲ致シテ、實際出來マスヤウナ手續ハ成ルベク之ヲ採用シテ、公正證書ノ信用ヲ維持スルコトニ力メマシタ、ソレテ何カ證據、ソレカラ代理委任狀ノ認證書ニ就キマシテハ、現在ノ手續ヨリハ少シ面倒窮屈ニナシテ居ルコトハ認メマスケレドモ、是ハ唯今ノ御心配ノ點ヲ幾分ニテモ防ぐコトガ出來ルト云フ主意カラデ、政府ニ於テモ此案ノ通りニスレバ其弊害ハ根本的ニ除カレルト云フコトハ認メマセヌ、併ナガラ此方法ヨリ外ニハトシテ採用致シタ次第ゴザイマス

○神崎東藏君 是モ逐條ト云フコトニナラヌカ知レマセヌガ、立會人ト云フコトガアルノデゴザイマス、今マデ公證役場ニ付テ調べ見マスルト、立會ト云フモノハ殆ド價値ナイ人間ガシテ、煙草屋ノ亭主ガ立會ヲシテ見タリ、產婆ノ男妾ガ立會ヲスルト云フヤウナコトデ、一遍立會ヲテ五錢貰フ、二錢貰フト云フヤウナコトデゴザイマス、所ガ今度大方ニ依ルト、ヤハリ立會人ヲ要スルト云フコトガ書イテアツテ、立會人ト云フモノハ有難イ眞面目ノ豪イモノ、ヤウニナシテ居ル、サウシテ其選定ノ方法ハ囑託人又ハ代理人ガ選定スルトスウアル、サウスルト其處ニ自分ノ乗ヅテ來タ車夫ヲ頼ンデモ宣イ、サウ云フ風ニ

ナルト却テ立會人ハ害アシテ益ナイヤウニナルガ、立會人ノ資格ヲ作シテ、ヤハリ裁判所カラデモ立會人ニ或資格ノ有ル者ヲ命ジテ置クト云フヤウナ風ニシテ、本當ニ公正證書ニ有難味ヲ付ケルト云フヤウナコトニハナリマセヌカ、其邊ヲ伺ヒタイ

○望月長夫君 チヨットソレニ續イテノ質問デゴザイマスガ、先キニ申シマシタ如ク、公正證書ノ信用ガ甚ダ薄弱アルト云フコト、此公證人が證書ヲ作ルニハ囑託人ノ氏名ヲ知ッテ且ツ之ト面識アルコトヲ要スルト云フコトデアルガ、其氏名ヲ知リ且ツ面識有ルカ無カツタカト云フコトハ、何等ノ確證ガナイ、何カ事件が起シテ公證人が自己ノ身上ニ懸ツテ來、懲罰ニデモサレルヤウナコトガアルト、イヤ私ハ知テ居リマシタト云ヘバ、ソレデ仕様ガナイ是ハ公證人が囑託人ノ氏名ヲ知リ且ツ之ト面識アルコトヲ要スト云フノハ、殆ド其反證ノ舉ヶヤウナナイカラ、イツデモ公證人ハ初メテノ者ガ行ツテモ大抵ノ者ハ通ル、イヤ承知致シテ居リマシタト云フヤウナコトデ通ル、サウ云フ風ニ公正證書ハイソデモ出來テ居ル、ソレト今ノ立會人ト云フ者、是ハ何處ノ役場ヘ行シテモ立會請負業者が有シテ、ソレガ立會シテ居ルカラ、一人ハ何十通何百通モノ證書ニ立會シテ居ル、殆ド皆今神崎君ガ言ハレタヤウナ者ガ立會シテ居ル、其邊ハ此度ノ法律デモヤハリ囑託人ノ氏名ヲ知リ且ツ面識アルコトヲ要スルト云フノハ、公證人が知シテ居シタラ宜イノデアルカラ、殆ド其取締ガ着カナイト思ハレル、立會人モヤハリ要件ニハナシテ居ルケレドモ、今神崎君ノ言ハル、ヤウナ風デ、實際殆ド何ノ效用モナサヌ場合が多い、是等ノ點ニ付テ政府ハ別段ノ考慮ヲ迴ラサレテ、他ニ良法ヲ攻究サレタコトハナインデゴザイマセウカ、折角ノ二十八條が出來テ居ルノデスカラ、此公證人ハ囑託人ノ氏名ヲ知シテ居シテ、面識ノアルト云フコトニ付テ、何カ良イ方法ハゴザイマセヌカ

○神崎東藏君 序ニモウ一ツ伺ヒマスガ、茲ニ管轄區域ト云フヤウナコトガ書イテアル、地方裁判所管内區裁判所管内ト云フヤウニ、裁判所ニハ區域が定マシテ居ルガ、此公證人ノ區域ト云フモノハ一向不明確デゴザイマス、裁判所ニハ民事訟訴法デ區域が極マシテアルガ、是ニハサウ云フモノハナイ、例ハ九州ノ者ガ一人掛シテ東京ヘ來テ拵ヘテモ宜イト云フヤウニナシテ居ル、一方デハ今望月君ガ言ハレタヤウニ、面識ノアルト云フコトガ大層主ナシテ條項ニナシテ居リマスルガ、北海道ノ人間ガ九州ニ來テ公正證書ヲ拵ヘテ貰シテモ宜イヤウナ区域ト云フコトハアルガ、其區域ノ規定が非常ニボンヤリシテ居ル、是ハドウ云フ風ニナシテ居ルカ、ソレモ序ニ伺シテ置キタイ

○政府委員(齊藤十一郎君) 第一ノ立會人ノ點ニ付テノ御尋ネゴザイマスルガ、現在ノ立會人ノ中ニハ、或ハ御述ベニナシタヤウナ者ガアルデアラウト思ハレマス、併ナガラ此現行法が監督懲戒ニ關スル規定が誠ニ不備デゴザイマシテ、其場合ハ監督機關又ハ懲戒權ヲ常雇ノ立會人ガアル、サウ云フ事實デアルニモ拘ラズ、本案ニモ立會人ノ制度ヲ認メタノハドウ云フ譯アルカ、實效ガアルカナイカト云フ御尋ノヤウニ伺ヒマシタガ、現在ノ立會人ノ中ニハ、或ハ御述ベニナシタヤウナ者ガアルデアラウト思ハレマス、併ナガラ此現行法が監督懲戒ニ關スル規定が誠ニ不備デゴザイマシテ、其場合ハ監督機關又ハ懲戒權ヲ行フ機關が其事ヲ知リマシテモ、監督ヲ嚴ニシ懲戒ニ附スルト云フ譯ニイカナイ場合が多イノデアリマス、ソレデ本案ニ於キマシテ、七十九條ニ公證人が品位ヲ失墜スベキ行爲ヲナシタルトキハ懲戒ニ附スルト、斯ウ云フ規定ヲ設ケマシテ、唯今御問ノ中御述ベニナリマシタヤウナ場合ニ、嚴重ニ之ヲ懲戒ニ附スル、斯ウ云フ主義ヲ執リマシタ次第デ、其方

ノ制裁デ公證人ガ不都合ナ事ヲスル止メシメ、益ミ品位ヲ高カラシムルト云フ結果ニナラウト信ジマス、此方ガ高マリマスレバ、從ツテ立會人ノ方ノ場合ニ於テモ、御心配ニナルヤウナコトハナクナルテアラウト云フ見込デアリマス、次ギニ氏名ヲ知リ面識アルト云フ御尋デアリマスガ、成程是ハ御尤ナ御尋ニ、公證人ガ囑託人ノ氏名ヲ知ラナイ面識がナインニ、氏名ヲ知リ面識アリト書タキニハ、其反證ガ無イデハナイカト云フノハ御尤ニアリマスガ、是モ公證人ノ品位問題ニ係ハリマスノテ、監督ヲ嚴ニシ懲戒ヲ嚴ニ致シマスレバ、サウ云フコトハ將來ハ起ルマイト信ズルノデアリマス、政府モ現在ノ公證人ヲバ、ソレ程人格ノ賤シキモノトハ認メテ居リマセヌガ、中ニハ不都合ナ者モアリマセウケレドモ、サウ云フ意味デ是ハ出來テ居ルコトニ御承知ヲ願ヒタイ、第二ノ點デゴザイマスガ、公證人管轄區域ト云フ文字ハ此案ニハ使シテ居リマセヌ、職務執行ノ地區ト云フコトニ十七條ニ書イテアリマス、是ハ公證人ハ其役場ニ於テ職務ヲ行フコトニナシテ居リマスカラ、囑託人ハドノ場所カラ參シテモ、其囑託ノ職務ハ執ラナケレバナラヌノデスガ、第十七條ニ規定シテアルコトハ、公證人ガ出張シテ職務ヲ執ル場合ノ規定デアリマスノデ、左様御承知ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 私ハ實際問題ハ別トシテ、第一ニ説明ヲ求メタイ重要ナル事項ガアルノデスガ、憲法ノ第十條ニ「天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定メ及文武官ヲ任免ス、但シ此憲法又ハ他ノ法律ニ特例ヲ掲ゲタルモノハ各其條項ニ依ル」此條規ノ文字ニ依シテ見マスルト、行政各部ノ官僚ト云フモノハ總ニ大權事項ニ屬シテ居ルノデアル、而シテ更ニ憲法第五十七條ニ依テ見マスルト「司法權ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ行フ、裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウ云フ規定サレテアッテ、行政各部ノ官僚ハ大權事項ニ屬スルノデアルガ、獨リ此司法權ニ屬スル裁判所ノ構成ナドハ、大權事項トハセズシテ立法事項トシテ、法律トシテ之ヲ定メナケレバナラヌト云フ規定ガアル、而シテ行政官ノ任免ノ大權ニ屬スルト云フコトハ疑ヒアリマセヌガ、司法官トナリマスト、憲法ノ第五十八條ニ「裁判官ハ法律ニ定メタル資格ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス、裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外其職ヲ免セラル、コトナシ」懲戒ノ條規ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」トアル凡ソ法律規定ヲ俟シテ職務ノ任免、而シテ其職務ヲ行フ機關ノ組立ト云フモノハ、司法機關ノミニ限ルト云フ趣意ニ憲法上掲ゲラレテアルノデアル、各省ノ官制ニ依シテ見ルト、上ハ大臣下ハ屬僚ニ致ルマテ職務權限ガ規定サレアリ、各省ノ行政官官吏ハ屬官ニ至ルマデ大權ノ作用ニ依シテ任免黜陟セラレテ居ル、併ナガラ獨リ裁判官裁判所ト云フモノダケハ、法律ノ規定ニ俟シテ始メテソレヲ組立ラナシ、ソレノ任免ヲナスコトニナシテ居ル、此ニ於テ私が疑フ起スノハ、公證人ト云フモノハ裁判官デナイト云フコトハ論ヲ俟タナイ話デアル、サレバトテ行政各部ノ官吏テナクシテ、寧ロソレ以下ノモノデアルト思ハレルノデアル、然ルニ之ヲ法律ヲ以テ定メラル、ト云フ根據ハ何レノ邊ニアルカ、ト云フコトヲ政府ノ意見トシテ聽イテ置キタ

○政府委員(齊藤十一郎君) 公證人ノ身分ニ關スル事柄ヲモ、本案ノ中ニ加ヘテ規定シマシタ理由ニ付テ御答致シマス、是ハ公正證書ト云フモノハ、法律ニ定メタル資格ノアルモノガ、法律ニ定メタル法式ニ由リ作成シタモノテアル、斯ウ云一般ノ原則ニ

ヨリマシテ規定シタノデアリマス、無論命令ニ依リテ權利ヲ持シテ居ルモノ、作成シタモノモ、公正證書デアル場合モアルコトハ無論デアリマスケレドモ、私權ニ關スル公正證書トシテ本案ニ規定シマスルモノハ特別ノ公正證書ノ外、一般的ノ公正證書デゴザイマシテ、之ヲ作ルタメニ特別ナ機關タル公證人ト云フモノヲ設ケル趣意ヲ認メタノデアリマス、斯様ナモノヲ認メル場合トシテ、今御話ノ通りニ官吏デモナイ、斯ウ云フノデゴザイマシテ——アルノデアリマスカラシテ、サウシテ公正證書ノ方ハ法律ヲ定メタル資格ノアル者ガ、法律ノ方式ニ依シテ製スルモノデアルト云フコトニナリマスレバ、ドウモ法律ヲ定メタ方が適當アルマイカト云フ考カ法律ノ中ニ入レマシタ次第デス

○花井卓藏君 能ク其意味ガ私ニハ分リマセヌデスガ、離レバニ一ツ一ツ御尋シタイト思ヒマスガ、公證人ト云フ者ハ官吏テアリマスカ、官吏テアリマセヌカトスガ、現行ノ制度ノ外ニハ一ツモナイヤウデアリマスガ、現行ノ制度ニ認メテ居ル以外ニ任ト云フ文字ヲ用ヒタモノガアリマセウカ、ドウデアリマセウカ

○政府委員(齊藤十一郎君) 此任ハ官吏任命ノ任トハ別ナ意味カモ知ラヌシテ委任トスガ、現行公證人規則ニ「公證人ハ司法大臣之ヲ任命」トゴザイマスカラ、此用例ニ據リマシタノデゴザイマス

○花井卓藏君 今日ノ用例ニ依シテ用井ラレタ任ノ字ハ、任命ノ任ニアラズシテ委任ト云フ任ノ意味デアリマスカ、或ハ外ニ何カ任ノ根據ガアリマスカ、私ハ任ト云フ字ハ法文ノ上デハ整ヘテ置キタイト思テ質問スルノデスカラ、善意ノ質問デス、囑託ト云フ文字ノ上カラハ委任ト云フ文字ノヤウニ思ハレルノデアリマスガ、委任トスルナラバ今ノ疑モ起ルデス

○花井卓藏君 是モ餘程奇体ナ質問デアリマスケレドモ、尋ねテ置キタイノデアリマスガ、公證人法ト云フ法律ハドウ云フ性質ノモノデアルノデスカ、公法ナンデセウカ私法ナンデセウカ、ソレガ餘程ムツカシイ御問ヒノヤウニナリマスカラシテ平タク尋ねテ見マスレバ、公證人法ト云フモノハ民法商法其他ノ特別法令ニ公證人ノ任務デ取扱フベキ事項ガ掲ゲラレテアル、ソレヲ運用スル或人ノ權限事項ヲ定ムルトコロノ法律デ、是ハ其附屬法ト云フ解釋ナノデアリマセウカ、或ハ又何カ公證人官制トテモ讀メサウナ規定ガ此中ニ澤山アリマスカラ、法律ノ性質トシテハドウ云フモノデアラウカト云フコトヲ伺ヒタイ、私ガ本會ニ於テ現行公證人規則ト云フモノハ、法律以外ニ於テ現ハレテ居ル、明治十九年頃ノ法律ノ解釋ハ、或ハ命令デモ何アモ勝手次第ニ、其時ノ都合ノ好イヤウニ或モノハ法律トシテ或モノハ勅令トシテ居ルガ、此公證人規則ハ所謂憲法實施後デアルカラ、命令事項デアルカト云フ御尋シタコロガ、法律事項ノ積リデアタノデアルト云フ法制局長ノ御答ガアッタ、デスガ私ノ考ヘテハ、ヤハリ憲法上ノ總テノ條規ノ上ノ命令事

項デ宜イモノデアラウト云フ位ノ感ヲ有シテ居ル、ソレ故其問モ起シタノアリマスケレドモ、御説明ニ依シテ見レバ、法律トシテヤルト云フコトデアレバ、強テ反対デモ何デモナイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 公證人ノ行ヒマスル權限ハ、此案ノ趣意デハヤハリ國ノ事務ヲ行フノアラタニ、シカモ性質ハ是ハ非訟事件デアラウト思フノデズ、ソレデ非訟事件トシテ國ノ事務ヲ行フモノデゴザイマスカラ、性質カラ申セバ無論公法ノ中ニ屬シテ居ルト思ヒマスガ、併シ此中ニハ證書ヲ作シテ見マスルト云フト、或ハ私權ノ關係モ有ツトコロ

モアラウト思ヒマスガ、是ハ本規則ノ全体ガ公法ノ關係アラタニ、本規則ノ中ニハソレヲ唯挿入シタト云フコトニ過ギナインデアルト、斯様ニ御承知ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 サウスルト民法商法其他ノ特別法令ノ助法ニアラズシテ、ヤハリ執ルトコロノ仕事ハ私權關係アラウト思フ、國ノ事務トシテヤルノデアルカラ、公法ノ一種ニ屬スルモノデアルト云フ解釋デアルト、斯ウ云フ趣意デスナ

○政府委員(齋藤十一郎君) 公法デゴザイマシテモ、例ヘバ訴訟法ノ非訟法事件ノ手續法ト云フヤウナ助法トモ見ラレルノデアリマスカラ、其點カラ見マスルト云フト、ヤハリ助法ト見テ宜カラウト思ヒマス

○花井卓藏君 サウスルト主法ニアラズ助法ニシテ、性質ハ公法ニ屬スルト云フ解釋デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) サウ見テ宜カラウト思ヒマス

○谷澤龍藏君 チヨット御尋シマスガ先刻花井君カラ御尋ガアリマシタガ、此公正證書ヲ作ルト見マスルト、委任狀ニ依シテ證書ヲ作ルト云フコトガアリマスガ、所テ此委任狀ト云フモノハ餘程實際上弊害ガアルト思フ、ソレデ吾々ノ考デハ自筆證書トカ何カニシタラ、或ハ此弊害ヲ矯ムルコトガ出來ハシナイカト云フ考モアル、此規則中テ自筆證書ト云フコトニハ出來ナインデアリマスカ、サウ云コトハマダ御考ニナシテ居リマセヌカ、今日ノ實際上ハ餘程弊害ガアル、或ハ百圓借リテ一万圓ニナルトカ、或ハ五千圓ニナルトカ、又認諾ヲスル人ニ非常ニ困難ヲサセルコトガアル、此委任狀ノ弊ト云フモノヲ矯ムルコトハ出來マセヌカ、ソレニハ自筆ノ證書ト云フコトニシタラドウカト思ヒマスガ、サウ云フコトニハ何カ御考案ハアリマセヌカ、ソレカラ序ニ先程ノ何ガ分リマシタラドウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 自筆證書ト云フコトニ致シマシテモ、何某ト云フモノガ他人ノ名前ヲ詐リマシテ、他人ノ名ヲ自筆デアルト稱ヘ書イテ持シテ參シタトキニハヤハリ同ジコトニナルノデ、ソレヨリハ役場ノ方ニ届出デアリマスカラ、印鑑ヲ以テ對照シテ調べル方ガ安全アルト、斯ウ思フノアリマス

○谷澤龍藏君 印鑑ハ餘リ其効ハナカラウト思ヒマス、何カ此委任狀ノ外ニ之ヲ防ぐ策ガ大ニ必要デアラウト思ヒマス、今ノトコロハソレヲ防グ考案ガアリマセヌカ、自筆ノ證書ニスレバ此弊害ハ餘程防ガレヤウト思ヒマス、唯印鑑ダケニシテ此弊害ヲ防グト云フコトハ出來マイト思フ

○政府委員(齋藤十一郎君) 自筆證書デアルト稱ヘテ持シタキニハ、ドウモ對照スル書類ガアリマセヌト、ヤハリ偽筆が多クナリマスカラ、先づ政府デハ印鑑ヲ對照スルト云フコトが最モ適當ナ方法デアルト認メタ次第ゴザイマス、ソレカラ第一ノ御尋デゴザ

イマスガ、是ハマダ取調が出来マセヌカラト

○花井卓藏君 第一條ニ付テ質問ヲ致シマス、是ハ修正的ノ質問デアリマス「其ノ他ノ關係人」ト云フ文字ガアル「當事者其ノ他ノ關係人」之ヲ改メテ單ニ「關係人」ノ三字ニスレバ當事者モ這入ルシ、其ノ他能ク總テノ人ヲ包括セラル、ルコトニナラウト思ヒ

マス、斯ノ如ク「當事者其ノ他ノ關係人」ト云フ文字ヲ書カズニ、寧ロ「公證人ハ關係人ノト云フ風ニ改メルコトハ出來マセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 此當事者ト云フ文字ヲ使タノハ、御考ノ通ニ實ハ注意的ノ文字デ、丁度關係人ト云フモノハ法律行爲デアレバ當事者アルノヲ、ソレヲ法律行爲ニアラサル事實ニ付テハ、法律行爲ノ當事者ニ當ル人ニナルノデ、斯ウ云フ意味ヲ明カニスルタメニ用ヰタノデ、法文ト致シテハ是非ナケレバナラスト云フ文字ハアリ

マセヌガ、唯注意ノタメニ入レタノデアリマス

○花井卓藏君 尚第一條ニ付テ修正的ノ質問ヲ致シマスガ、公正證書ト云フモノ、證明スルトコロハ法律行爲ノミニ限ルモノト主義ヲ定メテ、其他ノコトハ公正證書ノ證明スベキ限リニ非ズト主義ヲ定メテ其ノ他私權ニ關スル事實ト云フコトヲ削ルコトニ同意ハ出來マセヌカ

○神崎東藏君 同ジコトニ付テ伺ヒマスガ、過日政府委員ノ言ハレタ株式會社總會ノ筆記トカ、山林ノ立木、若クハ炭坑ノ廣サ、斯ウ云フモノヲ公證人ガ書ク、是等ノ事柄ハ私ハ害ガアルトモ利益ハアルマイト思ヒマス、例ヘバ日向國ニ立派ナ樟ノ山ガアル、此山ハ立木ハ此位ダト云フコトヲ公證人ガ書イタト致シテモ、無論資本ヲ出ス人ガ、是ハ公證人ガ書イタノカラ間違ナイト信ジテ金ヲ出ス人ハアルマイ、出ス人ハ一遍往々テ見ナケレバナラズ、サウ云フコトデ公證人ニ書カセルト云フコトハ、多クノ場合ニ於テ詐偽等ノ手段ニ用ユルコトが出來ルカモ知レナイカラ、寧ロ花井君ノ仰セラレタヤウニ、公證人ノ仕事ハ法律行爲ニ限ルト云フ方ガ、先づ現在ノ社會ノ程度ニ於テ利益ノコトデハナカラウカト思フ、其點ハ如何デアリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 同ジ御問ト見テ纏メテ御答致シマスガ、是ハ實際必要ニ應ジマスクメニ入レタノデアリマシテ、實ハ證據物トシテ證明書ヲ提出スルコトハ極メテ多カラウト思ヒマス、サウシテ此制度ガ行ハレマスレバ益々其必要が附イテ參ルグラウト思ヒマス唯今モ詐偽が行ハレ易イト云フ御心配ガアリマスガ、其心配ノタメニハ事實ニ付テノ證書ヲ作成セシメマス場合ニ、證明書ヤ種々ノ制限ヲ設ケテ、其手續ニ依レバ詐偽ノ方ハソレ程心配ハアルマイト思ヒマス

○花井卓藏君 第一條ノ末段ニ「權限」ト云フ字が使シテアリマス、此權限ト云フ字ハ現行公證人規則ニ書イテアル職務ト云フ文字ト同シ意味デアリマスカ、或ハ責任ト云フ文字デアリマスカ、或ハ權利ト云フ文字デアルカ、此意味ヲ拜承シタイ、其説明ノ如何ニ依テハ第二條ノ規定ノ必要不必要ヲ決スベキ、大變ナル理由ニ相成ルノデアリマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 現行法ニハ職務トアラタニ、案ニハ權限トアリマスガ、是ハ見方が違フカラ文字ガ異ルノデゴザイマシテ、一方ハ公證人ノ力ノ方カラ規定シ、現行法ハ公證人ノ義務ノ方カラ規定シタダケノ違ヒダケデ、違シテ居ルハアリマセヌ

○花井卓藏君 私ハ決シテ政府委員ヲ辯護スル必要ハアリマセヌガ、此條文ハ義務ノ

方カラ書イタノデハアリマスマイ、貴下ハ義務ト仰シャツガ、義務ノ方カラ書イタノ事柄ニ

ナルト、第三條ハ全ク讀メナイコトニナリマス、權利ノ意味テ書イタノデハアリマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 現行法ハ義務ノ方デ、案ノ方ハ權利ノ方ニナルノデア

リマス

○花井卓藏君 サウスルト義務ノ觀念ハ少シモ入レナイト云フ意味デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 第一條ニハ其意味ハアリマセヌガ、斯様ナ權限ガアル

ノデアリマシテ、人民ガ囑託スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、人民カラ囑託シテ參レバ

是非作ラケレバナラスト云フ義務ハ生ジテ參ル

○花井卓藏君 私モ文字ハ其意味タラウト讀ンシテ居リマシタ「限」ノ字ハヤハリ義務

ノ趣意ニ於テ現行法令ニ書イテアル、若シ「限」ノ字ノ幾分デモ義務ノ觀念ガアルト第三

條ノ無用ヲ感ズル、第三條ノ關係ヲ權限ト云フ字カラ說イテ下サイ

○政府委員(齋藤十一郎君) 權限ノ文字ハ裁判所構成法ナドニハ所々見エテ居

リマス「裁判所ノ權限」斯ウ云フ文字ニナシテ居リマス

○花井卓藏君 責任ノ意味ガ含マレテ居ル

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ例ヘバ十七條ナドニ「前數條ニ掲ケタルモノヲ除

ク外區裁判所ノ權限ハ」トアル、ソレト同シ意味デアリマス

○花井卓藏君 サウスルト認證ヲ與フルノ權限ヲ要スルノデアシテ、當然囑託ト云フコト

ハ拒マレナイ關係ニナラケレバナリマセヌガ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 三條ノ規定ハ相當ノ理由ガアレバ拒ムコトが出來ルコトヲ半面ニ表ハシテアル、絶對ニ拒ムコトハ出來ヌモノデハナイト云フコトヲ示シタ趣意デ

アリマス

○花井卓藏君 ソコデ私ノ問ハウト思フ所ニ來タ、今迄ハ伏線ヲ張シテ置イタノデアル、

私ハ第一條ノ下ニ「但正當ノ理由アルトキハ拒ムコトヲ得」ト云フ意味ニ書カナケレバ法

文ノ筋ガ立タニ、三條ヲ獨立ノ條文トスルト、第一條公證人ハ云々ノ權限ヲ有スト

アシテ、サウシテ其權限ハ如何ナル意味ノモノデアルカト云フト、誠ニ輕イ意味デアル、何ト

ナレバ第三條ハ獨立ノ條文ヲ正當ノ理由ガアルナルバ拒ムコトが出來ルト讀マナケレバナ

ラナイカラ、私ノ見ル所ハ御説明ノ通りスレバ、一條ノ但書ニ三條ノ意味ヲ加ヘルガ

當然デアルマイカト考ヘマスカラ、サウ云フ意味ニ修正ヲ致シマシタラバ、御同意ニナリマスカ、修正ノ意味ニ於テノ質問デス

○政府委員(齋藤十一郎君) 別段意味ニ於テ變ルマイト思ヒマスガ、ドウカ此案ノ

通リニ御通シラ願ヒマス

○花井卓藏君 ドウモ獨立ノ條文トシテ、二條ヲ真中ニ挿シテ此處ニ出スト、何ダカ

オカシイヤウニ思ノデスナ

○委員長(磯部四郎君) 委員長ガ物ヲ言フ所デナイケレドモ、斯ウ云フコトヲハナイノ

デスカ、權限ハ責務ト謂フコトデ、權利ノ幅ダケラ茲ニ規定シテ、權利デアルカライヤナ

證書ハ作ラナイト言ハレルト困ルカラ、ソコデ三條デ結シテ正當ノ理由ガアルノデナケレバ

拒ムコトガ出來ヌト謂フ意味デ、一方ハ權利、一方ハ義務ヲ規定シタモノト思ツテ讀ン

デ居ツタノデスガ……

○花井卓藏君 平易ニ讀ムトサウナル、ソレテ言フノデアルガ、第二條ニ妙ナモノヲ挿ン

デ三條ヲ獨立ノ條文トシテ置クノハイケナイ……

○委員長(磯部四郎君) 誰カ委員長ヲヤツテ吳レ玉ヘ、僕モ委員ニナシテシャベリタク

ナシテ來タナ(笑聲起ル)

○花井卓藏君 第二條ニ公正ノ效力ヲ有スト云フコトガアリマスガ、是ハドウ云フコト

デスカ、證據法上ノ問題ニ外ナラヌノデアリマスガ、進歩シタル法律デアルカラ、モット良

イ文句ハナノデスカ、條約ナラバ優越權ト云フコトモアリマスガ……

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ御尤デアリマス、實ハ公正證書トハ成ラスト云フ

意味ニ外ナラヌノデアリマシテ、何等カ良イ文字ヲト思ヒマシタケレドモ強テ現行ノ文字

ヲ改メルニモ當ルマイト云フノデ保存シグノデス

○花井卓藏君 如何ニモオカシイデハアリマセヌカ——效力ヲ有スト云フダケテ澤山デ

アリマセヌカ、公正ノ效力ヲ有ストシナイデモ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 或ハ證據トシテハ多少ノ效力ハアラウト思ヒマス、但公

正證書トシテ效力ハ無イ、斯ウ云フ意味デアリマス

○望月長夫君 第二條ノ置キ場所ハ如何ニモ妙ト思フ、第一條ニ公證人ノ權利ト見

ルベキモノヲ書キ、第三條四條五條ハ公證人ノ義務ト見ルベキコトヲ書キ、其間ニ第二

條ヲ挿シテ証書ノ効力ガ書イテアル、斯ウナラバ公正ノ効力ヲ有スト云フコトガ半面ニ

アルカラ、是ハ証書ノ効力ト見ルベキコトガ挿マシテ居ル、第二條ニ證書ノ効力ニ關スル

規定ヲ突然出シタカラ、前後が變ニ見エルト思ヒマスカ、是ハ最初カラ此處が適當ナ場

處デアルト云フノデ、他ニ考案ガナカツタノデスカ、或ハ四章五章ニ持シテ往クカ、或ハ

此章デモ他ニ場所ノ工夫ガアリサウニ思ハレルノデスガ……

○花井卓藏君 ソレガ私が前回ニ御尋シタ趣意デ、私ハ公正證書法ト云フ法律ヲ作

リタイト云フ希望デス、第二條ハ公正證書法ニ類シテ居ル規定デ氣ニ入シテ居ル、之ヲ

書ケバ公證人法ト謠ハレテモ、實ハ公正證書法ト無理ニ自分ダケハ讀シテ喜ンデ居ルノ

デアルガ、モウ少シ條文ヲ加ヘテ疑ノナイ立派ナモノニシテ公正證書法ト云フモノニシタイ

ト云フ考ヲ有シテ居リマス、此儘デハ一條ニ入レテモ良クナイ、サウカト云フシテ總則ノ終リノ

九條ノ次ギニヤル譯ニモ往カナイ、所ニ一條ヲ削ッタラドウカト考ヘマシタガ、削シテモ差支

ハナイヤウニ思フ、民法商法ニ於テ公正證書ノ効力ガ書イテアリマスカラ、何ニモ効力ヲ公

證人法ニ書カナクトモ、運轉ハ附キハシナイカト云フ感ヲ持シテ居リマスガ、若シ之ヲ是非

立派ナモノヲ書クコトニシタイト思ヒマス、削除カ、修正カ、何レニシテモ体裁ノ良イモノ

ニシタイト云フ趣意カラ、質問致シマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 此第二條ノ場所ガ惡イト云フコトニ付テノ御尋デス

ガ、實ハ花井君ノ御述ニナリマシタヤウニ、他ノ條ト最密接ナル關係ヲ持シテ居ル箇條

デアリマシテ、總則ノ中カラ之ヲ抜キマスルト外ニ這入りマセヌカラ、ソレデ第二條トシテ

之ヲ入レマシタ、ソレカラ一條無クトモ解釋上此通リノ趣意ニナルデヤナカト云フ御尋

デスガ、ソレハ疑ガアリマスノデ、ドウニモ削ルコトハ無理デアラウカト思ハレマス

- 花井卓藏君 次ハ第四條ノ規定ハ要ルノデスカ、刑法ニモ規定ガアルヤウデスガ
- 政府委員(齊藤十一郎君) 是ハ囑託人ノ同意ガアツタ場合ハ、事件ヲ他ニ話シテモ良イ、斯ウ云フ意味デス
- 花井卓藏君 サウスルト本文ノ但書——例外ガ入用ダカラ書イタノデスカ
- 政府委員(齊藤十一郎君) 但書が入用ダカラト云フコトニモナルマイト思ヒマス
- 花井卓藏君 ケレドモ本文ハ新刑法ニチヤント書イテアル、罰モ附イテ居ル
- 政府委員(齊藤十一郎君) 成程刑法ニモゴザイマスガ、唯今申上ゲタヤウナ趣旨デ規定シタモノト、御承知ヲ願ヒタ
- 望月長夫君 今ノデハ本文ト合ハヌヤウニ思フガ、法文ニ別段ノ定メアル場合ハ公證人ガ言ハナケレバナラヌ、ソレカラ言ツテ宜ヒト云フ規定ノアル場合以外ハ、一切言ハセナイト云フ意味ダラウト思フガ、此第四條ハ本人ノ秘密デアルト秘密デナイトヲ區別セズシテ、一切漏洩サセナイ意味ダラウト思フガ、其通リデアリマスカ
- 政府委員(齊藤十一郎君) 其通リデアリマス
- 委員長(磯部四郎君) 第五條ニ何カゴザイマス
- 川原茂輔君 私ハ第五條デ御尋ネシマス、「公證人ハ他ノ公務ヲ兼ネ」云々斯ウ書イテゴザイマスガ、其公務ト云フコトハ例ヘバ町村會議員トカ府縣會議員トカト云フモノハ差支ナイガ衆議院議員ニ至リテハ公務中ニハ差支ガアルト云フヤウナ御見込ガゴザイマスカ、或ハ公證人ト雖モ衆議院議員タルコトヲ得ト云フ御解釋カト思ヒマスガ
- 政府委員(齊藤十一郎君) 是ハ司法大臣ノ許可ヲ得マシタナラバ、ドンナ公務デモ爲スコトが出来ルト云フ意味デゴザイマス
- 川原茂輔君 法文ノ上ニ於テモソレハ讀メマスガ、近來ノ司法省ハ知リマセヌガ、前ノ内閣ノ時代ニ於テハ、公證人ヲ現在ヤクテ居ル者ガ衆議院議員ニ當選シタル場合ハ差支ヘナイ、併シ現在衆議院議員タル者ハ、公證人ノ資格ヲ願出タトコロガ許サナイト云フ方針デアルト云フコトヲ聞イテ居ル、果シテサウデアルカ、若クハ今ノ御答ノ通り現司法省ハ意見ガ變ツタ次第アリマセウカ
- 政府委員(齊藤十一郎君) 現在衆議院議員デアル人ガ、公證人ヲ願出タ時ニ許サナイ方針ト云フヤウナコトハ、司法省デハ執ツテ居リマセヌ、現ニ此處ニ御列席ノ牧野君ハ確カニ衆議院議員トシテ公證人ニ任ゼラレタ方デアリマス
- 川原茂輔君 モウ一ツ念ノタメニ——無論ソレハ例ガアルノデス、牧野君ハ公證人ノ職務ヲ繼續シテ居ル半パニ衆議院議員ニ當選シタノアル、ソレト反対ニ衆議院議員ノ現職ノ者ガ、公證人ノ資格ヲ有シテ居ルガ故ニ、公證人ヲ願出タ場合ハ許サナイト云フノガ前内閣ノ御方針ト信ジテ居ル、現内閣モサウ云フ御方針ヲ御執リニナリマスカ
- 神崎東藏君 私ハソレハ實例ガアリマスカラ實例ノアルト云フコトヲ申シ上ゲテ置キマス
- 政府委員(齊藤十一郎君) 唯今ノ牧野君ニ付テノ事實デゴザイマスガ、斯様ニナツテ居リマス、三十七年ノ三月衆議院議員ニ當選、其後三十八年ニ公證人ニ任命ト云フコトニナツテ居リマス
- 委員長(磯部四郎君) 五條ニハゴザイマセヌガ……六條、七條、八條、九條、花井

卓藏君餘リ度々デスガ、六條ハ總則ノ規定デ宜ササウデスガ、七條、八條、九條ト云ノハ總則ノ規定デハ無イヤウニ思ヒマス、他ニ適當ナ入レベキ場所ガアルト思ヒマスガ、是非總則ニシナレバナラヌノデセウカ、一般ノ法令ナドテ御覽ナサイ、例ヘバ執達吏ニ關スル規則デモ斯シナ手數料ヤ、日當ヤ、旅費ヲ救命ニ讓ルナドト云フ規定ハ總則ノ中ニ書イテナイヤウニ思フシ、又他ノ各論ヲ起ストコロノ根本原則デハ無イデハアリマセヌカ

○政府委員(齊藤十一郎君) 當局者ニ於キマシテハ、ヤハリ此處ニ入レル方が最モ適當ナ場所ト考ヘマシタノデ、此手數料日當及ヒ旅費ハ本法ニ依テ作成シマシタモノニ付テノ外、特別法ニ依テ是ヲ取扱ヒマス手續ニ依テモヤハリ此規則ニ依テ手數料等ハ往ケルト云フ趣意ニ規定シタノアリマス、ソレテ總則ノ中ニ入レル方が相當ト思ツタノデアリマス

○花井卓藏君 公證人ノ權利ノトコロヲ規定スル趣意デ此處ニ書イテアルノデスガ

○政府委員(齊藤十一郎君) ソレモ一ツゴザイマス

○望月長夫君 此第六條ノ公證人が他人ニ損害ヲ加ヘタ場合、特ニ故意又ハ重大ナル過失ト制限サレタ趣旨ハドウ云フノデゴザイマセウカ、普通民法ノ規定ナドニ依ルト、受任者ハ善良ナル管理者ノ注意ヲシナケレバナラヌト云フコトガ民法ノ原則ニナクテ居ル、公證人ハ無論報酬ヲ受ケテ人ノ依託ニ應ズル者ガ、此公證人ニ付テハ特ニ故意又ハ重大ナル過失デナケレバ損害ヲ賠償スル責任ガナリ、殊更ニ其責任ヲ輕ク定メラレタノハ何カ趣意ガアリマスカ

○政府委員(齊藤十一郎君) 此規定ハ登記官吏戸籍吏ノ責任規定ト權衡ヲ得セシメタノアリマシテ、其實際ノ公證人ノ職務ノ執行ニ付テハ、損害ノ生ズルヤウナ場合ハ、先アスウ云フ場合ガ多カラウト思ヒマス、重大ナル過失、輕過失ニ付テハ損害ノ事實ニ付テハ殆ド豫想シ得ラレナイノデハアルマイカト思ヒマスガ、サウ云フ趣旨アス様ニ新シク規定シタノデゴザイマス

○谷澤龍藏君 唯今望月君カラ御尋ニナツタ第六條、是ハ今ノ御説明デ趣意ハ分カッタヤウデアリマスガ、外國ナドノ公證人ナドノ趨勢ハドウ云フ傾ニナツテ居リマスカ、本員ノ考テハ少シ官吏ト云フ中ノ戸籍吏ナドトハ違フト思ヒマスガ、外國ナドノ例ヲ御調ニナツテ居リマスレバ一應……

○政府委員(齊藤十一郎君) 外國ノ例ハ國々ニ依テイロ——異ナリマスガ、獨逸ニ於テハ一般ニ公證人ニ付テハ、官吏ノ規定ヲ適用シテ居リマス、ソレカラ佛蘭西ニ於テハ公證人が損害ノ賠償ニ任シマスル場合ハ極メテ制限シテアリマス、六條ノ趣意ハ外國法ニ較ベマシテ大ニ間違ツテ居ル點ハナカラウト信ジマス

○古賀庸藏君 此第六條ノ「囑託人其ノ他ノ者」ト云フニ付テノ説明ヲ伺ヒタ

○政府委員(齊藤十一郎君) 是モ登記法戸籍法ト同ジ文例ニ依ツタノア、當事者以外ニヤハリ損害ヲ受ケル者ガアルデアラウト思ヒマス

○花井卓藏君 古賀君ノ御尋デ發明ヲ致シマシタガ、其他ノモノト云フノハ第一條ノ

○政府委員(齋藤十一郎君) 廣々ござります

○矢島浦太郎君 此第七條ニ付テ御尋ヲ致シマス「手數料日當及旅費ヲ受ク」トアッテ是ハ勅令ヲ以て定ムル、現行法ニハ手數料旅費等ノ規定ガアツテ原本ハ一枚二十五錢、賸本ハ一枚十錢ト規定シテアルガ、是ハ時勢ノ進運ニ伴ウテ物價モ騰貴シ居ルカレバナラスト思ヒマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 其點ハ前回ニ於テ御答ヲ致シマシタガ、多少上ゲナケレバウ云フ趣意デアルカ如何デス

○矢島浦太郎君 若シオ上ゲニナルノナラバ、法文ニ前三ハ極メテアツテ、今度掲ゲヌノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 此ノ手數料ノコトハ、法律デ規定スルマデノコトハアルマトイ云フ考テス

○花井卓藏君 手數料ノコトモ、日當ノコトモ、刑事訴訟法ナドニハアラヌコトデハアリマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 外ノ勅令ニモ澤山イロノ例ガアリマス

○神崎東藏君 第六條三付テモウ一遍御尋ヲ致シマスガ、戸籍吏ヤ登記官吏ノ例ニ從タト云フ御答テアリマスガ、私ノ考テハ寧ロ公證人ハ戸籍吏ヤ登記官吏ヨリモ主權ニ關スル問題ニ關係ガアルカラ、執達吏ニ近クハナイカ、所が執達吏ニ對シテハ民事訴訟法第五百三十二條ニ「執達吏ハ債權者ノ委任ニヨリテナス行爲及職務上ノ義務ノ違背ヨリシテ債權者其他ノ關係人ニ對シ損害ヲ生セシメタルトキハ第一ニ其責ニ任ス」とアツテ、大分責任ガ重クナシテ居ル執達吏ト公證人ト較ベタト云フコトハナカツタカ、ソレヲ一ツ伺イグト

○政府委員(齋藤十一郎君) 执達吏ト公證人ト較ベタコトハナカツタカト云フ御尋ニアリマスガ、其點モ研究ヲ致シマシタガ、執達吏ハ御承知ノ通り直接二人ノ財産ヲ差押ヘ、人ノ財産ニ手ヲ觸レルカラ、隨分損害ヲ生ズル度合ガ公證人ヨリ違フダラウト思ヒマセヌ

(「餘り變ラヌナ」ト呼フ者アリ)

○望月長夫君 確カ現在ニ於テ公證人ノ收入ハ或程度ニ達シナイ時ハ、國庫カラ補助スルヤウニ、執達吏同様ニナシテ居ツタト思ヒマスガ、若シサウデアレバ、現在ニ於テ公證人ヲ國庫ガ補助シナケレバナラスト云フ場合ガアリマシタカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 現在ニ於テ公證人ニ國庫ガ補助ヲ與ヘルコトハゴザイマセヌ

○委員長(機部四郎君) 此第八條九條ニ付テ質問ハゴザイマセヌカ

○神崎東藏君 第八條「公證人が職務ヲ行フコト能ハザル場合ニ於テハ司法大臣云々トナシテ居マスガ、是ハ勿論公證人が職務ヲ行フコトが出來ヌト云フ場合ニハ、代理人ノ公證人ヲ置クト云フ後ニ規定ガアルノデアリマスガ、公證人ニアツテ病氣デ職務ヲ行フコトが出來ヌ場合ニハ、代理セシムルニモ此條文ヲ當籍メルノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御問ノ通リデアリマス

○委員長(機部四郎君) 九條ニ付テハ御質問ガナイト考ヘマスカラ……

○花井卓藏君 八條九條ニ付テ纏メテ御尋ヲ致シマス、是ハ現行法ノ規定ニナリ、新ナル規定デスガ、誠ニ必要ノナイヤウニ思ヒマス、裁判所ガ公證人ノ職務ヲ行フコトハ差支ナシデセウ、何カ外國ノ立法例ニ斯ウ云フモノガアルデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 外國ノ立法例ノ御尋ニアリマスガ、此點ニ付キマシテハイロノ規定ガアルヤウデアリマス、公證人ト區裁判所トヲ兩立セシメテ、ドチラニ行クト云フコトハ囑託人ノ選擇ニ任セストコロガアリマス、ソレカラ原則ハ公證人が公正證書ヲ作ルコトニシテ、公證人ニ差支ノアルトキニ區裁判所ニ其事務ヲ取扱ハシムルコトニナシテ居ルノデアリマス、此案ハ後ノ方ノ主義ニ依リマシタノデゴザイマス

○委員長(機部四郎君) ソレデハ九條マテ質問が終シタシテ、第二章ニ移リマス、二章ハ逐條デモ大體ニ於テモ、ドチラナト御隨意ニ……

○川原茂輔君 第十六條ノ第二項ニ付テ御尋ヲ致シマスガ「一定ノ試験ニ合格シタル後六月以上公證人見習トシテ實地修習ヲ爲シタルコト」此公證人見習トシテ實地修習ヲナシタルコトハ、斯ウアリマスガ、是ハ即チ事實問題ニアラウト思フガ、其事實ニ於テ公證人役場ア六月以上見習ヲシタ云フ其公證人が證明ヲスレバ、ソレデ宜シト云フ意味デゴザイマセウガ、ソレハ既往ノコトデ、假リニ試験及ビ實地修習ニ關スル規定ハ司法大臣之ヲ定ムト云フノハ、是ハ將來ノコトデ、既往ニ於テ既ニ六箇月以上修習シタル者ト云フコトヲ、既設公證人が證明スレバ、既往ノコトニ付テハソレデ宜シト云フコトニナリマセウ、之ヲ御尋致シマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 本案ガ法律トナシテ行ハレマセヌ間ハ、公證人見習ト云フ者ハゴザイマセヌ、是ガ法律トナシテ行ハレマシタ後ニナシテ公證人見習ト云フ者ガ出テ参リマス

○川原茂輔君 ソコデ公證人法案ガ行レタ後ハ、司法大臣ガ其手續ヲ定メル此公證人法ガ行ハレマスト、既往ニ於テ既ニ修習ヲ事實上爲シタル者ト雖モ、此司法大臣ノ定メタル規定ニ依テ更ニ又修習ヲシ直サズベ效力ヲ生ゼヌノデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 御問ノ通リデアリマス

○委員長(機部四郎君) 第十六條マテモウ御質問ハアリマセヌ

○花井卓藏君 第十四條ニ付テ「刑ノ執行ヲ終リ又ハ其執行ヲ受ルコトナキニ至リタル」キハ此限ニアラス」トアル是ハ新刑法ノ執行猶豫が規定デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ刑法執行法ノ文例ニ倣シタノテ、新刑法ノ執行猶豫ノ方ハ其結果ハ刑ノ言渡ニ効力ヲ無クシマスカラ、無論此項ニ道入リマセヌ、刑ニ處セラレテ執行ヲ受ケルコトノ中ニ、時效ニ係ルト云フ場合ヲ見テ居リマス、ソレカラ特赦……

○望月長夫君 第十四條ノ第四號ニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ、除名後二年ヲ過ギタラヤハリ公證人ニナレルト云フヤウニ書イテアリマスガ、サウスルト其ノ除名ノ効果ガ元辯護士トシテハ除名セラレタガ、公證人ニハナレルト云フコトニナル、一方辯護士ニハ除名サレレバ終身ナレナイガ、公證人ニハ一年經ツトナレル、是ハドウ云フ區別カラ來タデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ試験ヲ受ケバナレルノデ、試験ヲ受ケナケレバ二

年經チマシテモナレナイノデ、是ハ辯護士法ト變ルトコロハナイ考テゴザイマス
○花井卓藏君 第十五條ノ第三號ノ規定ニ付テ御尋ヲ致シマスガ「公證人身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキ」ト斯ウ書イテアルガ、公證人ニナル人が此處ニアル、其人ハ曾テ裁判官ニアツタ、身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ退職ヲ決議サレタ而シテ公證人ニシタ、而モ其人ガ一番數が多イ、サウスルト此第十五條ノ文意ハ「精神又ハ身體ノ衰弱ニ因リ退職ヲ命セラレタル公證人、身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキ」ト斯ウ言ハザルヲ得ヌノアリマス、左様心得テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ成ルベク嚴格ニ適用スル主義デゴザイマス
○花井卓藏君 サウシマスト身体又ハ精神ノ衰弱ニ因テ退職ノ決議ヲ受ケタル判檢事ナドハ無論御採用ニナラヌ方針デゴザイマスカ、現在ノモ免黜ニナルノデゴザイマスカ
○政府委員(齋藤十一郎君) 現在ノ分ハ施行法ニ依リマシテ所謂精神ノ變態ヲ方ガナイノデゴザイマスガ、將來ハ成ベクソレヲ公證人ニハ任セナイコトニナルデアラウト思ヒマス
○矢島浦太郎君 此ノ十五條ニ公證人身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其ノ職務ヲ云ト規定シテアリマスガ、若シ瘋癲ニナリマシテ所謂精神ノ變態ヲ來シマシタ場合ハ何ヲ適用スルノデアリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此中ニ這入ラウト思ヒマスシ、又瘋癲ニナリマシタ結果、禁治產者ノ宣告ヲ受ケマシタ場合ニハ、當然——受ケナイ場合ニモ之ニ當ル積リテアリマス
○矢島浦太郎君 受ケナイ場合モアリマスカ、氣違デモ……
○政府委員(齋藤十一郎君) 無論此二號ニ當ル積リデゴザイマス
○矢島浦太郎君 少シ不穩當デハアリマセヌカ、精神喪失者ヲ衰弱ニ入レルノハ餘程牽強附會デハアリマセヌカ、是ハ御直シニナツテモ宜イヂヤアアリマセヌカ
○委員長(磯部四郎君) 討論ノ時ニ願ヒマス——ソコデ十六條マデハ御質問ゴザイマセヌカ
○望月長夫君 チヨトモウ一ツ伺ヒマスガ第十六條ニ「當然其ノ職ヲ失フ」トアルハ是非免職ノ辭令ト云フト少シオカシイガ、任免ノトキニハ何カアルノデセウカ、何モナシニ唯火ノ消エタヤウニボロリト消ヘルノデセウカ、ドウ云フ工合ニナルノデセウ
○政府委員(齋藤十一郎君) 別ニ辭令ヲ交付スル式ハ踏マナインデゴザイマス
○神崎東藏君 ヤハリ看板ハドンノ持シテ來ルノデスカ
○政府委員(齋藤十一郎君) アレハ細則デ定メル考テゴザイマス
○委員長(磯部四郎君) モウ御質問ガナケレバ第三章ニ移リマス
○花井卓藏君 小サイコトデスケレドモ、此第三章ニ「職務執行」ト云フ下ニ「ニ關スル通則」ト云フコトガ書イテアル、公證人法ノ小別ノ表題トシテ此處ダケ少シ變ナ感ジガ致シマスガ「職務ノ執行」トカ或ハ「職務執行ノ紀律」トカ云フヤウナ事柄ニナル方カ穏當デハナカト思ヒマス
○政府委員(齋藤十一郎君) 此案ノ第四章ニハ「證書ノ作成」第五章ニハ「認證」

トアリマシテ、是ハヤハリ職務執行ニ關スル規定デ、第三章ハ其通則ト、ソレカラ他ノ特別法ノ通則デゴザイマスカラ、通則ト云フ字ヲ入レタノデゴザイマス
○花井卓藏君 第十八條第二項ノ但書中「事件ノ性質ガ之ヲ許サ、ル場合」ト云フ例ヲシテ貴ヒタイ本アルト云フコトヲ調書ニ載セル場合ニ、其山林ニ付テ職務ヲ執行スル、ソレモ一ツノ例デアラウト思ヒマス、ソレカラ法令ニ別段ノ定メト云フノハ、例ヘバ拒絶證書ヲ作成スル場合ニハ商法ニ特別ノ規定ガゴザイマス、ア、云フ規定ヲ申スノデゴザイマス
○花井卓藏君 十九條デヤハリ小サイコトデスガ御尋シタノハ、爰ニ任命ノ「命」ノ字ガ書イテアル、一体前ノ御説明ニ依テモ公證人ヲ任ズルト云フ字ヲ避ケテ命ズルト云フ字ヲ用ヒタノハ御尤デゴザイマスガ、所ガ茲ニ「任命」ト云フ字ハ書イテアツデモ、實際ノ意味ハ公證人ハ「任」ノ辭令ヲ學ケタル日ヨリト斯ウ云フ意味ニナリマスカ、ドウデスカ、私ハ「命ス」トスル方が宜イト思ヒマス
○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ例ヘバ官吏ニ付キマシテ何々ニ任ズト云フ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ辭令書ハ任命ノ辭令書ト申シテ居ルト思ヒマス
○花井卓藏君 サウスルトヤハリ官吏ト云フ意味ニ見テ居ルノデスカ
○政府委員(齋藤十一郎君) 官吏ト云フ意味デハゴザイマセヌガ「任スル」ト云フ字ヲ使ツタラ——官吏ノ場合ニ「任ス」ト云フ字ヲ使ツテ、ヤハリ任命ノ辭令書ト申シテ居ルノデゴザイマス
○花井卓藏君 是ハ「任」ト云フ字ヲ廢メテ「命」ノ字ニスルト云フコトニハ往カナインデスカ、文武官ノ任命ト云フノハ天皇ノ大權ニ依ルト憲法ナドニ書イテアル、大切な字デアリマスカラ、官吏デハナイト云フコトガアツタ、ヤハリ破産管財人ノヤウニ「公證人ヲ命ス」ト云フコトニシタ方が穩當デアラウト思ヒマスガ、序ニ「任命」ニ改メルト云フ事柄ハ御不同意デゴザイマセウカ、伺ツテ置キタ、斯ウ云フコトハ能ク渝ヘテ置カヌトイカヌ、大切ナモノデアラウト思ヒマス
○政府委員(齋藤十一郎君) 御尤ノ御尋デアリマスガ、其點ニ付キマシテハ曩ニモベマシタ通りニ此案ハ現行法ノ文字ヲ其儘ニ用ヰテ居シタノデアリマシテ、サウ云フ御説ガゴザイマスレバ、尙文例等ヲ調ベマシテ次回御答ヲ致スコトニ致シタ
○花井卓藏君 モウ一ツ御尋シタイデスガ、辭令書ト云フ字ガ書イテアガ、辭令書ト云フ字ヲ法文ノ上ニ現ハシタノモ餘り見ナイヤウデスカ、任命ヲ受ケタル日ヨリト云フノハ任命ノ辭令書ヲ受ケタル日ヨリト云フノト同ジ意味デアラウト思ヒマスガ、殊更ニ辭令書ト云フ三字ヲ加ヘラレタノハドウ云フ譯デスカ、任命ヲ受ケルト云フノハ即チ辭令書ヲ受取ルト云フコトナノデセウ
○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ官吏ノ場合ニ此傳給令ノ變リマシタトキニ能クアル例デゴザイマシテ、別ニ辭令書ヲ用ヰナインデ、何級俸ニ敍セラレタモノト見ルガ如キ文例ガアリマスノデ、全ク其文例ニ依リマシタノデアリマス
○花井卓藏君 司法省ノ參事官ニハ、任ズト云フ必ズ辭令ガアルノデス、公證人ノ辭令ニ命ズルト云フノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君)此任命ヲ受ケルト云フコトハ任命ノ辭令書ヲ受ケルノダト解説スヤバ宜イノデゴザイマスナレドキ、是ハ其身元保證金ヲ納メル期限ノ起算點ニナラヌテ居リマス、ソレデ任命ヲ受ケタルト云フト、司法大臣ガ命ズルカ、或ハ任ズルト云フコトヲ公表シタトキト云フ疑モアルノデスガ、ソレデ辭令書ガ本人ノ手ニ渡ツテカラト云ッタ方ガ、其疑ヲ明カニスル必要ガゴザイマスマイト思ヒマス。

○花井卓藏君 辞令書ナシニ任命ガアルト云フコトヲ豫想スルコトが出來レバ格別ニアルガ、任命ハ必ず辭令書ニ伴フト云フコトヲ以テ見タナラバ、御答ハ意味ヲナサヌト思ヒマスガ――マア宜ウゴザイマス

○大戸復三郎君 チヨット此十九條二項ノ身元保證金デスガ、是ハ或ハ細則テ定マル
ノデスカ、或ハ現金ニ限ルノデスカ、有價證券デモ宜イノデスカ
○政府委員(齋藤十一郎君) 有價證券デモ 宜シイト云フ 見込デゴザイマシテ、是ハ
細則ア其點ハ 現行法ト異ナラヌノデアリマス

(此用昔會時間：間有白、黑兩色)

○委員長（研吉四郎君） 従事が不規則、四時比で元ヤーチモ……

メテシマツタモノハ、身元保證金六万用間經過リ後アフザミ置付

是スウナハ實祭元主ノ公體ハタレコトヲ立當見ヒニ可リ吉ニレ事内

卷之三

政府委員（齋藤十郎君）はハ御承知ノ通り公證人ノ身元保證金ノ上三八先

取特權がアルノデス、ソレテ若シ其先取特權者が主張シテ參リマシタトキニ裁判所ハ其

者ニ渡サナケレバナラヌ、又公證人が廢メマシタ場合モ先取特權ガアルカモ知レナ、ソ

レ故ニ権利が消滅シテモ先取特權ガ消滅スルマデハ裁判所ハ下ゲテヤレナイト云フニ相

成ルト思フテゴザイマス、サウセナイト、裁判所ニ責任ガ移ル恐ガアリマス

○川原茂輔君
先取特權トハ何デスカ

○政府委員(齋藤十一郎君)　是ハ民法デ規定シテゴザイマスノデ、公吏ノ職務上ノ

位地カラ生ズル損害ノ賠償ヲ求ムル者ハ、其公使ノ納メマシタ身元保證金ノ上ニ先取

特權ヲ有テ居ルト云フコトニナシテ居ル、尤モソレハ公使トゴザイマス、
公體人ハ公使ト

見テ居リマス、ソレデ公使ト見テ居ルコトハ方々ノ裁判所ニアルノアス、實ハ斯様ナ可切

ノ規定ガアリマセヌケレバ、裁判所トシテ可持乞毛坂ス「トが出来ナイ形ニナレソダゴザイ

マスク、咳ニ困ルノデ設ケマシタ規定アゴザイアム

月喪失書

皇月天子之命此一例公合人行九十八年不

正月元日之次，歲在癸卯，十一日，良君，表半所云……
月旦日，子雲之次，歲在癸卯，十一日，良君，表半所云……

○皇月長夫君、ソレハ施行規則三定タル積リ云々が

○政治家(神廟十一郎君) 詩シイコトハ施行規則テキメマス

C委員長（磯部四郎君）第四章ニ移リマスカ

宣シイト呼フ著アリ

○委員長(磯部四郎君) 第四章證書ノ作成
○矢島浦太郎君 此二十八條ノ印鑑證明書ヲ提出セシム其人違無キコトヲ證明セ

第五類第十九號 公證人法案委員會議錄 第三回

○谷澤龍藏君 第二十一條ノ第二項デアリマス「市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ證書ノ真正ナルコトヲ證明セシムルコトヲ要ス」ト云フコトガアル、此市區町村長ハ印鑑ノ證明ハ出來マセウカ、證書ノ真正ナルコトヲ證明セシムルコトハ出來ル

デアラウカ、出來ヌデアラウカ、ドウモ本員ナドノ考ヘルトコロデハ、證書ノ真正ナルコトノ證明ハドウモ出來ナイダラウト思ヒマス、若シ之ヲサシタトコロガ、粗忽ナモノバカリ出來ルハシナイカト思ヒマス、其證書ノ真正ナルコトヲ證明が出來ルト云フ 御見込デアリマセウカ

○政府委員(齊藤十一郎君) 是ハ町村長ニ印鑑證明書ヲ出サセテ、其印鑑證明書ト委任狀ノ印鑑トガ一致シテ居リマスル場合ニハ、委任狀ガ真正デアルト云フコトノ證明ガアッタモノト見テ宜シイト云フ趣意テアリマス

○谷澤龍藏君 ソコノコトデアリマスカ、本員ナドノ思フニハ、印鑑ト委任狀トガ一致シタノヲ以テ直チニ真正ナリト認メルト云フコトハ、一方被害ヲ被ルコトが多い、ソレデ町村長が證書ノ真正ナルコトヲ證明セシメルト云フコトデハナク、證書ノ真正ナルコトヲ證明シ——此證書ハ真正ナモノデアルト云フコトヲ書カセル必要ガアリハセヌカト思ヒマス

○政府委員(齊藤十一郎君) 此證書ノ真正ナルコトヲ證明サセルコトハ、町村長ヲシテ證明サセルノデハゴザイマセヌ、是ハ本人ヲシテ公證人が證明サセル趣意アリマス○谷澤龍藏君 他ニ證明ノ必要ガアレバ 證明ヲサセルト云フコトノ場合モアルノデスガ……

○政府委員(齊藤十一郎君) 印鑑證明書ダケデ證明サセルノデアリマス
○谷澤龍藏君 印鑑證明書ダケデ證明サセルノデアリマス、印鑑ダケデ真正ニスルト云フコトハ、ドウモ危險デアルヤウニ思フ、此字ガナケレバマダ宜シイガ……

○政府委員(齊藤十一郎君) 此證書ノ真正ト云フコトハ、裁判所ニ於テ争フコトノ出來ナイマテ確定スルト云フ意味デハ無論ナイノデゴザイマス
○谷澤龍藏君 ナイノデスカ

○政府委員(齊藤十一郎君) 是ハ裁判所ニ争フコトニナリマシタ場合ハ、決シテ之ニ羈束サレルモノテハナイ、第一公正證書ハ正當ニ成立タモノデアルト云フコトニナル、公正證書ノ偽造ト云フコトヲ争フコトハ無論デアル
○望月長夫君 此三十一條デスガ、例ヘ銀行ノ重役若クハ支配人、一時ニ公正證書ヲ數通嘱託シテ拵ヘル、サウ云フ場合ニ三十一條及之ニ關聯スル規定ノミニ據ルトヤハリ嘱託スル證書一通毎ニ、一々登記書ノ謄本ヲ添ヘルトカ何トカ云フ手續ヲサセナケレバナラヌコトニナル思ヒマスガ、果シテ是ハヤハリ一通毎ニサウ云フコトヲシナケレバナラヌ御趣旨ニナルノデスカ、今一通裁判所ト登記所ノ謄本ヲ持テ來テ居ル、證書トハ相手ガ違テモ宜シイカ、數十通拵ヘテ嘱託スル、其場合ニモ、登記謄本ヲ數十通取テ來ナケレバナラヌヤウニ其儘ダトナルヤウニ思フ、果シテサウ云フコトヲ命ジタ其積リデアリマスカ

○政府委員(齊藤十一郎君) 數通ノ證書ヲ作りマストキニ此登記所ノ謄本ヲ添ヘルコトハ 正式デアリマス、併ナガラ其手續ヲシマセヌデモ、一通ヲ持テ參ツテ、一ツノ

證書ヲ作成シマシテ、其登記所ノ謄本ガ附屬書類トナッタ場合ハ、其附屬書類ニ寫ラ公證人が捺ヘテ、ソレヲ貼付シテ置クコトモ出來ル

○望月長夫君 ソレハ悉クノ謄本ガ要ル譯デアリマスカ

○政府委員(齊藤十一郎君) 左様デアリマス、證書ハ成ルベク一件纏メテ總テノ關係が分ルヤウニスル方が後ノタメニ便宜デアルノミナラズ、例ヘバ一ツノ原本が無クナラズ、他ノモノガ残ダテ居ルトキニ、タッタ一通ノ證書ヲ作テ居ツタ場合ニハ、證明ノ場合ニ後トデナクナル恐レガアッテ甚ダ危険デアルカラ、ヤハリ一通毎ニ貼附シテ置ク方ガ必要デアルト思ヒマス

○川原茂輔君 三十四條ニ付テノ御尋ヲ致シマスガ、三十四條ノ「通事及立會人ハ囑託人、又ハ其代理人之ヲ選定スルコトヲ要ス」トアリマスガ、是ハ此場合ニ於テハ公證人ハ通事ト立會人ト面識ノ有無ハ此條文ニ於テハドウモ必要ハナイヤウニ思ヒマスガ、囑託人ガ選定シタル上ニ於テ公證人が面識アルコトヲ要スト云フノデアリマスガ、公證人ト立會人ノ面識ノ有無ニ付テノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(齊藤十一郎君) 通事及立會人ニ付イテハ面識アルコトハ必要デゴザイマセス
○花井卓藏君 通事ノトコロデ二十九條ニ戻フテ、三十四條ニモ關係ヲ有スルモノトシテ御尋シマスガ、此日本語ヲ解セザル場合ノ通事ハ、或ハ大ナル間違ハナイヤウニ思ヒマスガ、聾者デアルトカ、啞者デアルトカ、或ハ言語ヲ發スルコトノ出來ナイモノデアルト云フヤウナ者ノ通事ノ選定ト云フコトハ、大變ニ必要ナコトデアッテ、且實際ハ困難ナコトデアルト思フ、然ルニ大變ニ大キイ財產ノ處分ヲスルト云フヤウナ場合ニ、一旦通事が誤ツタリ或ハ故意ニ間違ツタリナドシテ、聾者啞者ノ言語ヲ發スルコト能ハザル者ノ、本意ニナイヤウナ事柄ヲ通譯シテ、ソレニ依テ證書が作ラレル、併ナガラ其證書ハ後日争ニナシテ居ルノハ、所謂公正ノ効ヲ有スト云フノデ、一應ノ推測トシテハ鞏固ナ材料ニナルト思ハレル譯ニナルノデアリマス、所テ此通事ト云フ者ニハ宣誓ノ義務モナケレバ、又之ヲ間違ヘタカラト云ヅテモ、刑事責任モ無ケレバ、又損害保障ノ責任モ此法律ニハ規定シテナイヤウデアリマスガ、一人ノ通事が左様ナル事柄ヲ致シマシテモ、證明ハ依然タルマイカト思フノデス、若シソレガムヅカシイト云フコトデアッタナラバ、ヤハリ通事ハ一名ニ限ラズシテ數名ノ者ヲ通事ニスルト云フコトニナレバ、三人ガ三人共不都合ノ事ヲスル憂ハアルマイカト考ヘル、此邊ニ付テノ御詮議ハアッタノデゴザイマセウカ、御詮議ガアッタルマジカト思フノデス、若シソレガムヅカシイト云フコトデアッタナラバ、ヤハリ通事ハ一名ニセラル、ト云フ患ハナイトモ限ラズ、斯ル場合ニハ親族縁故者ト云フ者ガ、互ニ隨分様ナル巧ミヲスルト云フコトハ實際ノ裁判ノ上ニアルノデス

○政府委員(齊藤十一郎君) 御尤ナ御尋デ——實ハ通事ニ就キマシテハ、當局ニ於キマシテ、ズット先キノ案ニハヤハリ三十四條ノ第二項ノヤウナ規定ヲ通事ニモ適用スルコトニ致ス主義ヲ執ツタノデアリマス、サウシテ成ルベク公平ナ考ヲ有シテ通譯ヲスルモノ

ヲ通事ニ爲サウト云フ規定ニ致サウト思ッタノデス、所が段々考ヘテ見マスト、龍者嘸者ナドノ場合ハ通事ト致シマシテモ、實ハ其者ノ親戚或ハ家族ト云フヤウナ者ハ、一番能

ク意味ヲ通ズルノアリマス、ドウモ其本人ト密接ノ關係ノアル者ヲ撰ンテナケレバ目的的

ヲ達セラレヌト云フ虞モアリマシタノデ、ソレデ三四四條ノ二項ノ制限ニ從ハシム譯ニハ

往カヌ、三四四條ノ一項ノ規定ガアルカラ、大概囑託人又代理人が選定スルノアルカ

カラ、信用アル者ヲ選定スルノアラウ、其方ニ任シテ自ラ選定ノ場合ニ注意ヲサセタ方

ガ宜シカラウ、斯ウ云フ主義テアリマシテ、通事ニハ何等ノ制限ヲ設ケヌコトニ致シタノデ

アリマス、經過ト云フ御尋テゴザイマスカラ、經過ダケヲ——ソレカラモウ一ツ尙附加ヘテ

茲ニ通事ニ就キマシテハ、尙民事刑事ノ訴訟法ニ制限ヲ置カネバナラヌト云フ議論モア

リマスルガ、御承知ノ通りニ現行ノ民事訴訟法ニ於テハ、マダ制限ハ設ケテゴザイマセス、其方ノ權衡カラ見マシテモ、公證人法案ニハ別ニ差支ハアルマイ、斯ウ云フ考モ加

ハツテ居タノデアリマス

○花井卓藏君 趣意ハ是モ分ルト思ヒマスケレドモ、通事ヲ立會シムルコトヲ要スト

云フ場合ニ、通事が通譯スルト云フ意味ニハ文字ノ通りデハ讀メナイ、ケレドモ聾者嘸

者ナド、云フヤウナ頭ノ上ノ文字カラシテ通事ノ立會ト云フノハ、全然立會フ譯デハナ

イ、ヤハリ通譯ノ意味ニ於テ立會ト云フコトニ讀シテ讀メナイコトハアリマセヌケレドモ、

公證人法ニハ立會ト云フモノガ其爲メノ意味デ使ハレテ、其立會人ヲ立會ハシムルコトヲ要スルノデ、此立會ト通事ニ立會トハ全ク立會が違フテ居ル、此立會ト云フ字ハ穩當

デナイヤウニ思フ、ドウ云フ御積リアリマセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ民事訴訟法ノ百二十六條ニモ、通事ヲ立會ハシ

ムルコト、書テアリマスルカラ……

○花井卓藏君 ソレハ民事訴訟法ノ二十三條ノヤウナ規定ガアッタナラバ、サウカモ知

レマセヌガ、此立會ノ場合ニハサウ讀メナイノデス、本條モ二十三條ノ如キ規定ガナケレ

バ、通譯ニ立會ノ出來ルト云フコトガ讀メルケレドモ、二十三條ノ處ニハ立會人ヲ立會

ハシムルト云フコトハ、唯立會人ト云フ譯ノ意味ナシデス、此前ノ方ノ立會ト云フ 意味

デヤナイ全ク達フノデス

○政府委員(齋藤十一郎君) 御問ノ趣意ハ能ク分リマシタ、通事ヲ立會ハシムルト

申セバ、通事ノ目的ノ適フヤウニト云フコトハ、當然不可能ノコト、思ヒマスカラ、通譯

セシムルト云フコトハ當然分ルト解釋シテ差支ナイト思ヒマス

○望月長夫君 私ハ全體此立會人ト云フ者ハ全ク無益ナモノト思ヒマシタノデスガ、

全體はハドウ云フ趣意テ此立會人ト云フ者ガ出來テ居ルノアルマセウカ、或ハ裁判官ノ職務執行ヲ公正ニヤルト云フコトヲ保證スルタメニ、書記ノ立會ヲ必要トスル、成程裁判官ヨリ以下ノ人タル書記ガ立會ノアルケレドモ、是ハ一定ノ職責ヲ有ツタモノガ立會フ、所ガ此立會ト云フヤツハ唯道デ拾シテ來テ立會フト云フ、是ダケノ話デアル、何ノ職責モ無ケレバ、何ノ責任モナイ、所ガ之ヲ立會セル必要ハ何デアルカ、私ノ考デハ其依頼人が信實ニ依頼ラスルカ、依頼ラシナイカト云フコトニ付テハ、立會テハナクテ、公證人ガ公正證書ヲ正當ニ指ヘルカ、指ヘナイカト云フコトヲ、謂ハシ監督スルタメニ此立會ヲサセルト云フ趣意ニナシテ居ルデハアルマイカ、ソレナラバ道デ拾シテ來タヤウナ物ヲ以

テ、公證人ノ上ニ加ヘテ何ニナルカ、是ハ全體孰レノ趣意ニ出來テ居ルノアルカ、公證人ノ職務ノ執行ノ正當ハ行ハル、コトヲ保障スル、監督スルト云フ意味テ此法律ガ必要トスルコトニサレタノアルカ、ドノ趣意テ出來テ居ルノアルマセウカ、ソレヲ伺ッテ置キタ

○政府委員(齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ノ後ノ意味、即チ公證人が正當ニ職務ヲ執行スルカ否ヤト云フコトヲ監視スル其意味ニ於テ正當ト認メタシテス御承知ノ通りニ此裁判所ノ審問裁判ト云フモノハ、公開ト云フコトハ申スマデモナク、公衆ノ監視ノ下ニトノコトデアラウト思ヒマス、所ガ其公證人ノ職務執行ガ秘密ニ之ヲ爲スト云フノガ原則デアルカラ、正當ニ執行サルヤ否ヤト云フコトニ付テ、ヤハリ何カ其監視ノ制度が必

要デアラウト思フ、ソレデサウ云フ一ツノ機關トシテ置カネバナラナイ、現行法ノ趣意モ其付テノ御話デスガ、道カラ拾シテ來タモノト云フ御尋、是ハ先程御答シタル通リニ公證

人ノ監督懲戒ノ規定ガ嚴密ニナレバ、其弊害ハ全然ナクナルデアラウト私ハ信シテ居ル

デ、追々此規定ガ改マリマシテ、此適用ガ立派ニナリマスレバ、餘程立派ノ人が立會人ニナルデアラウト思ヒマス、サウ云フ御趣意ニ……

○望月長夫君 ソレデ今秘密ト云フ問題ガアリマシタガ、其事ニ付テモ一ツ伺シテ置キ

タイノハ、公證人が秘密ヲ漏ラスコトニ付テハ法律ニ禁止シ、尙制裁ガ附テ居ル、此通辭ヤ立會人ガ秘密ヲ漏ラシテ何ノ始末モ附カヌヤウデアリマスカ、ソラドコカデ始末ガ附キマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 三四四條ノ第一項ノ規定ニ據リマスルト、立會人ハ囑託人又ハ其立會人が撰定スル囑託人代理人が信用シタル人デ、立會人トシテ立會ハシムル人デゴザイマスルノテ、事實ニ於テハ秘密ヲ漏ラスト云フコトハアルマイト思ヒマスガ、又其秘密ヲ漏ラスコトガアリマシテモ信用シテ居ル人デアルカラ、大シタ害ニナルコトハ事實ニ於アルマイト思フ

○望月長夫君 ソレガ私ハドウモ不安心グト思フ、實際ノ事實ニ立入シテ高利貸カラ金ヲ借りル、之ハ借主ト貸主ト双方が囑託人ニナル、斯ノ如キ場合ニ借主ノ立會人ヲ選定スル自由ニ選定スル権能ガアルカト云フコトハ事實ニ於テハ實際ナイ、モウ貸ス方ノヤツガ自分ニ合ノ好イヤツヲ連レテ來ルニ極シテ居ル、今ノ當事者が頼ンダカラ安心ダ、大丈夫ダト云フコトハ當事者双方ガイシデモ同一ノ利益ヲ持シテ居ル公正證書ヲ作ルトキナレバ、サウダラウケレドモ、事實ニ於テハ一方が權利者トナシテ、一方が義務者トナル場合が多い、一方が利益ヲ受ケテ、一方が負擔ヲ致サナケレバナラヌ場合が多い、其時ニ多數ノ場合ハヤハリ貸セルヤツノ方が立會人ヲ自分ノ都合ノ好イヤツヲ連レテ行クト云フコトガ、今日マテ其通り行ハレテ居ルノデスガ、ソレニ何ニモ制裁モ責任モ始末ヲ附ケヌデ宜ト思ハレタノハ、サウ云フ實際ハ餘リ御考ニナラナカタカ

○花井卓藏君 チヨット私モ序デ二伺ヒマスガ、望月君ノ言ハレタ通り且此處ニハ公證人モ御出デニナリマスガ、立會人ト云フ規定ト云フモノハ、餘リ喜シテ實際ガ迎ヘヌ規定

テハアルマイカト私ハ思シテ居ル、ソレハ拾シテ來タ者ガ立會人ニナルト云フコトヲ望月君が申サレマシタガ、先ツ其拾シテ來タ同様位ノ者ガ立會人ニナシテ居ルノガ今日實際

デ、ソレデ監視スルト云ヘバ、公證人ト少クトモ同等若クハ以上ノ者アケレバナラヌノデスガ、若干ノ賃錢ヲ貰ッタナラバ、何ノ公正證書ヲ作ラレタカチヨクトモ分ラズ、唯名前ダケ書イテ來ルト云フ立會人ヲシテ公證人ノ品位ヲ上ゲテ、公證人ハ今後立派ナル人ガ出ナケレバ採用シナイト云フ方針ヲ執ラル、今日ニ於テ、同等デモヨリ以上アモ監視人ガナケレバ油斷ガナラナイト云フヤウナ御趣意ニ此法ヲ立テラレルト云フ事柄ハ、公證人ノ品位ヲ上ゲル所以ニアラズト私ハ思フ、又此ノ如キ拾テ來タヤウナ者ヲ立會ハシテ置ク立會人ハ、監督懲戒ヲ始末ヲ附ケルト云フコトガ、懲戒ノ規定デハ無罪デアル、何トナレバ三十四條ニ立會人タルコトヲ得ザル者ノ制限ヲ一號カラ七號マデニ書イテアルカラ、ソレ以外ノ者ヲヤツテ誠ニ着物ノ穢ナイ變ナヤツヲ連レテ來テ、懲戒ニナルコトハ要スルニ一號カラ七號ニ觸レス以上ハ、誰ヲヤツテモ無罪グラウト思ヒマス、何デセウカ、一號乃至七號以外ノ者ニアツテモ身分ノ賤シイ者トカ、或ハ良クナイ者ヲ立會人ニシタト云フトキニ於テ懲戒ニナルト云フ御趣意ナラバ、是デハ全ク分ラズト思ヒマスガ、ドウデゴザイマスカ、今日ノ時弊ニ鑑ミテ今後ノ公證人ノ品位ヲ上ゲルタメニハ御取リニナツテハドウデアルカ、能ク讀メテ法文ガ確カリスルグラウト思ヒマス

○政府委員(齊藤十一郎君) 先程懲戒ノ手續ヲ嚴ニスルト申シタノハ、公證人ノ方ノ道カラ拾テ來タヤウナ者ヲ立會人ニ立テ、證書ヲ作ル事實ガアルト云フコトニ私ハ御開キシマシタカラ、ソレデ懲戒ニ係ルト申シタノデアリマス、本人ノ方カラ連レテ參ルノハ、是ハドンナモノヲ達レテ來テモ致方ガアルマイト思フ、併ナガラ此三十四條ノ第三號ニ書イテアル、自ラ署名スルコト能ハザルモノ、少クトモ署名ニスルコトダケノ者アケレバ往カヌ、詰リ文字ヲ讀ミ得ル者ト云コトガ當然含ンテ居ルト思フ、ソレカラ是ヲ削シテハドウカト云フ御尋デアリマスガ、監視ト云フコトハ必シモ品位ノ立派ナ者アレバ其必要ガナイト云フコトニハ限ルマイト思フ、極端ナコトニナルカモ知レマセヌガ裁判所ノ裁判ヲ公開スルト云フノガ公衆ニアレガ、監視ノ意味デアルト云フコトニナルト、裁判所スラヤハリ公衆ノ面前ニハ監視ヲ受クルト云フコトニナルノデアツテ、其品位ノ問題トハ何モ關係ハナカラウヤウニ考ヘマスガ

○委員長(磯部四郎君) サウデス、モウ一ツ位ニシテ五十五條アタリマデヤツ附ケテシマッテ、今日ハヨシテハドウデス

○矢島浦太郎君 三十四條ニ左ニ掲グル者ニ立會人タルコトヲ得ズ、トアツテ一ヨリ七マデ規定シテアリマスガ、之ハ何カ役場ノ證明デモ持ツテサウシテ此果シテ一ヨリ七マデニ抵觸シナイト云フコトノ事實ヲ證明スルノデスカ、若シ然ラズトスレバ二十四條ニ掲ゲラレタル者デ果シテアルヤ否ヤト云フコトハ、何ニ依ツテ之ヲ知ルコトが得ルノデスカ、若シ之ヲ知ラズシテ是等ニ抵觸スル人が立會人トナシテ公正證書ヲ作ラレタストレバ、隨分オカシナモノニナリハセヌカト思フ

○政府委員(齊藤十一郎君) 御尤モナ御尋アヌガ、此要件ヲ充タシテ居ルカ否ヤト云ノ方アツレハ取ラネバナラヌコトデアラウト思フ

○牧野逸馬君 私ハ此三十一條ニ付テ御尋シテ見タイノデスガ、此三十一條ニ代理人ニ依リ囑託セラレタル場合ニ於テハ云々トアリマス、其代理人中ニハ固ヨリ公法人モ

包含シテ居ルモノダラウト思ヒマズガ、果シテサウデアルト致シマスルト、村長ノ加キ公法一人ノ身分證明ハドウ云フ方法ニシテ取ル御考デアリマセウカ
○政府委員(齊藤十一郎君) 無論町村長モ這入シテ居リマス、併ナガラ此同ジ文例ヲ以テ規定シテアリマスル戸籍法ノ適用ノ場合ニ於キマシテ、町村長ニ證明ヲサセテ居ル、ソレ自體が證明シテ居ラウト思フ
○牧野逸馬君 今一ツ御尋シタノハ三十六條デアリマスガ、公證人ノ作成スル證書ニハ、其本旨ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ストアル、即チ左ノ事項ト云フノハ一ノ要件トナシテ居ル譯デアリマスカラ、例ヘバ番號ヤ年齢ガ相違ガテアツテモ其證書ハ無效ニナル譯ニナルカト考ヘマスガ、番號ヤ年齡ニ相違ガアツテモ、證書ノ全體が無効トナルコトハナイト云フ御考デアリマスカ
○政府委員(齊藤十一郎君) 是ハ此要件ノ一ヲ缺イテアリマスレバ、證書ハ無効トナル考デアリマス
○花井卓藏君 此公證人ノ筆生ガ、事件漏洩ヲ禁ズル規定ハ無クテモ宜イノデスカ、新刑法ニ據シテモヤハリ醫師薬剤師ノ助手ト云フヤウナ者ガ漏洩ノ責任ヲ帶ビテ居ルヤウニナツテ居ル
○政府委員(齊藤十一郎君) イヤ、新刑法ニハゴザリマセヌヤウデス
○花井卓藏君 イヤ、アリマス、新刑法デス、其疑フ起スノハ、原則トシテ、第四條ニ公證人ハ事件ノ漏洩ハ相成ラズト規定シテアリマスカラ、何カ公證人法ノ上ニ於テ、筆生ダケハ差支ナキカノヤウニ讀ミ得ラレマスカラ、此疑フ起スノデアリマス
○政府委員(齊藤十一郎君) 改正刑法ニ於キマシテモ、醫師、薬剤師、藥種商、產婆、辯護士、辯護人是等ノ職務ニアル者ハ故無ク其業務ニ就テ云々トアリマシテ、助手ノコトハ書イテゴザイマセヌ、ソレデヤハリ他トノ關係ト同ジヤニラウト考ヘマス
○委員長(磯部四郎君) 御諳リ致シマス、次ノ會ハ何日ニ致シマセウ
○花井卓藏君 次ハ明後日願ヒマス
(「イヤ明後日ダケハ差支ガアリマスカラ、次ノ日ニ願ヒマス」ト云フ者アリ)
○委員長(磯部四郎君) 然ラバ次ノ日ハ明後日ノ模様ニ據シテ更ニ極メマス、今日ハ是デ散會致シマス 午後三時二十五分散會